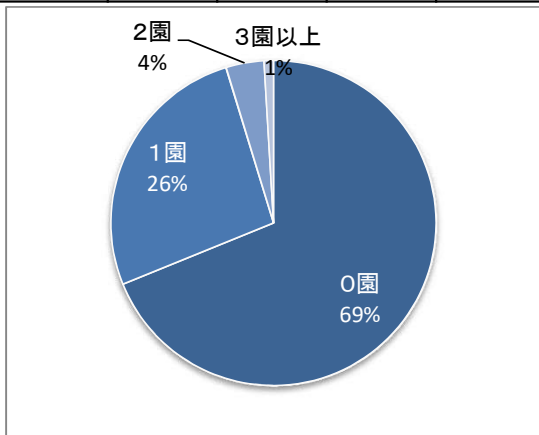


令和元年度「新潟市の一貫した教育」進捗状況調査から 幼保こ小連携・接続

質問1

児童が幼児教育施設を訪れる交流を実施していますか。交流している園の数を選択してください。

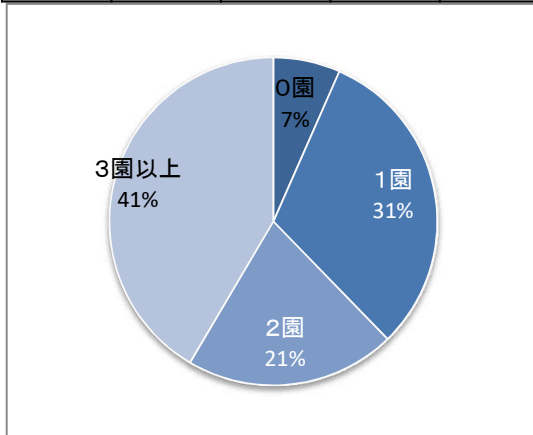
0園	1園	2園	3園以上	合計
73	28	4	1	106



質問2

園児が小学校を訪れる交流を実施していますか。交流している園の数を選択してください。

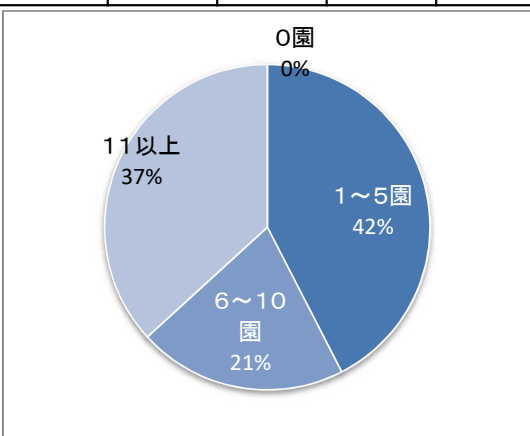
0園	1園	2園	3園以上	合計
7	33	22	44	106



質問3

新生児の入学前に、入学児童に関して、小学校職員による園への訪問や電話による情報交換をしていますか。情報交換している園の数を選択してください。

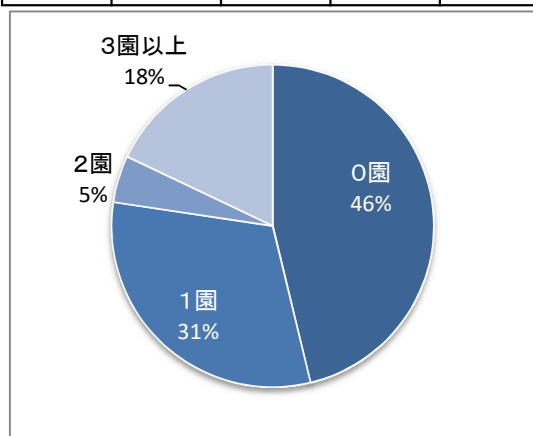
0園	1～5園	6～10	11以上	合計
0	45	22	39	106



質問4

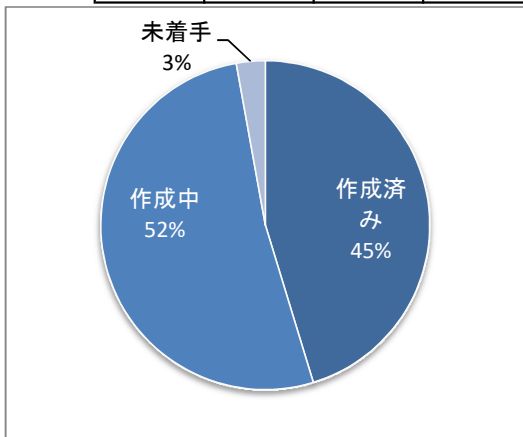
職員同士の交流や研修を実施していますか。交流や研修を実施している園の数を選択してください。(他の交流と同時に実施してる場合も記入してください。)

0園	1園	2園	3園以上	合計
49	33	5	19	106



質問8 スタートカリキュラムを作成していますか。

作成済	作成中	未着手	合計
48	55	3	106



○アンケート結果の概要

・児童、園児による訪問交流については、概ね昨年度と同様な状況である。

・入学児童の情報収集は、全小学校で実施され、小学校職員による訪問等により充実してきている。

・職員同士の交流や研修の実施はまだ一般的ではないが、少なくとも1園とは50%を超える小学校で実施されている。(昨年度40%)

・スタートカリキュラムについては作成済みが45%、作成中を含めると95%を超える。各小学校の努力により、取組が進んでいる。

質問5 職員同士の交流や研修を実施している学校は、どんな交流や研修をしていますか。内容をご記入ください。

- ・園児の活動の参観、協議会参加
 - ・入学後の授業参観、協議会参加
 - ・児童情報交換会
 - ・教育活動やその成果の話合い
 - ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの情報交換
 - ・中学校区の連携事業で全体研修会を実施
 - ・教務主任が園の評議員となり意見交換
 - ・小学校職員(管理職や1年担任)が出向き、保護者向けの講演の実施
 - ・アレルギー研修
 - ・財務研修
 - ・合同歓送迎会
 - ・救命救急法講習会
 - ・危険個所の点検会議
 - ・特別支援教育の合同研修会
 - ・中学校区の学校保健委員会でグループ協議
 - ・朝夕の職員間のあいさつ
 - ・共通の保護者を挟んでの保育士と小学校職員との三者会話
 - ・学校行事への参観、参加
 - ・当該校園の研究会参加
 - ・合同講演会、校長講話、職員レク
 - ・SNS対策、人権同和教育合同講演会
 - ・身につけさせたい資質・能力の情報交換
 - ・防災訓練参観
 - ・園長に学校評議員委嘱
- ※園児・児童の交流
- ・児童会祭りに園児を招待
 - ・園児の授業体験の実施
 - ・生活科で園児との交流
 - ・保育園の学習成果を小学校1,2年に披露(マーチング)
 - ・合同造形活動(総合・図工)
 - ・合同避難・防災訓練
 - ・運動会幼児レース実施
 - ・文化祭作品鑑賞交流
 - ・交流給食
 - ・異学年縦割班編成による行事参加
 - ・校内での遊びを通じた児童と園児の交流

質問6 連携の成果があれば、具体的にご記入ください。

- ・双方の職員がそれぞれの教育内容を理解することにつながった
 - ・それぞれの指導に生かされた
 - ・園児と児童の発達段階の差を理解することができた
 - ・学級編成に必要な情報を得ることができた
 - ・特別な支援を要する児童に対して、準備に余裕をもつことができた
 - ・スムーズなスタートが切れた
 - ・情報交換により児童や保護者に柔軟に対応することができた
 - ・実際に子どもを見て学級編成できた
 - ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの作成に役立った
 - ・問題があったときに相談しやすくなった
 - ・保護者の安心感にもつながった
 - ・目指す子どもの姿を共有することで、それぞれの立場ですべき指導が明確になった
 - ・保育士の子どもへの言動から学べる場所があった
 - ・幼児教育の理解が深まった
 - ・身につけたい資質・能力を共有したことで、保育園指導にも役立った
 - ・学習参観を通して児童の様子や学校の実態を知ってもらえた
 - ・互いの教育方針を具体的に知ることができた
 - ・園児作品、工夫された掲示物に刺激を受けた
 - ・地域課題、学校課題の共有につながった
 - ・幼保小中長期的な視野に立った情報交換ができた
- ※園児・児童への成果
- ・園児にとって小学校の雰囲気が分かり入学への期待が高まった
 - ・安心して入学を待てるようになった(肯定的な思い)
 - ・入学後も自信をもって行動していた
 - ・小学生にとって園児との交流で小さい子どもへの接し方を学んだ(優しさ、寛容性、表現力向上)
 - ・児童の学習への意欲喚起、充実感につながった
 - ・6年生が職場体験させてもらうことにつながった
 - ・4年生の保育園訪問でピア・サポートを高める体験学習となった

質問7 連携の課題があれば、具体的にご記入ください

- ・交流が校区内に限られる
- ・関連する職員以外交流の機会がない
- ・時間と労力がかかる
- ・時間の設定が難しい(園と学校の勤務形態や多忙期の違いもある)
- ・園の数が多く調整が難しい
- ・連携の意義をまだ共有できていない
- ・研修会前に事前協議する必要がある
- ・連携して行う学習内容を指導計画に位置付け、見直しをもつ
- ・情報交換が時間内に終わらない
- ・研修を通してカリキュラムを完成させ、それに沿った教育活動を推進する
- ・当該職員の負担増
- ・インフルエンザ流行時期と重なり日程調整が大変
- ・園により「個人情報」のとらえに差がある
- ・地域とともにどのように育てていくかという検討が十分ではない
- ・電話での情報交換では不十分
- ・園の理念や職員の指導観によって連携の在り方が変わる
- ・全職員の取組や情報共有が不十分
- ・行事以外の日常の様子をってもらうのが理想だが、機会がない
- ・目指す子ども像の共有
- ・小学校入学までに身に付けてもらいたいことの共有
- ・個人情報管理への配慮
- ・こども園となり、園の職員の参加が難しくなってきたため、夏季休業中に保育参観を行った
- ・引率に保護者の協力が必要な園がある(遠方の園、少数入学の園)
- ・定期的な交流が望ましい
- ・入学校でなくても、園の近くの小学校と交流できれば小学校のイメージがつかめる
- ・園の数が多いので、地区の園がまとまって、同一日に交流できる機会を検討する必要がある
- ・該当の園から入学する子どもがわずかで、連携の意義を見出しにくい
- ・職員の入れ替わりがあり、研修の積み重ねが難しい
- ・中学校との12年間のスパンで、子どもを育てていく計画やかかわりがあると良い